

大会実施上の新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン(6月8日版)

令和2年5月22日付、保学第22号「6月からの県立学校における部活動の再開について(通知)」により、対策を講じながら部活動がやっと再開できたところです。しかしながら、「合宿や対外試合等については6月21日(日)までの間には行わないこと。6月22日(月)以降の対応については、地域の感染者数の状況を踏まえ、県教委において事前に判断し通知する。」と示されており、今なお大会等の事業の実施は不透明なままです。

今般、岡山県高等学校体育連盟バレーボール部として、新型コロナウイルス感染症に対応した選手及び役員の健康・安全をまず第一に守るための、大会実施上のガイドラインを作成しました。なお、このガイドラインで示した感染防止対策による競技運営方法は、5月29日付、JVA「バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン」を参考に作成しています。今後状況により適宜見直しを行います。合宿や対外試合の実施が可能になった場合には、「『対外試合』における新型コロナウイルス感染症防止策チェックリスト」を参考としてご活用いただき感染防止対策の実施をよろしく願います。

1. 大会実施の基本的方針

- 大会の開催にあたっての要件
 - ・岡山県教育委員会及び岡山県高等学校体育連盟が対外試合を許可していること
 - ・全県的に、公立、私立高校ともに、部活動が通常の活動を行っていること
 - ・大会の開催までに、試合のための選手の準備期間が確保されていること
- 「3つの条件(①換気の悪い密閉空間、②多くの人が密集、③近距離での会話や発声)が同時に重なる場」の回避に留意し、感染防止に努める

2. 実施に当たっての対応

- 参加については、生徒と保護者の意向を尊重する
- 発熱等の風邪症状がみられる生徒は、参加しないように徹底する
- 大会参加者(役員、引率教員、生徒)は、別添の「『対外試合』における新型コロナウイルス感染症防止策チェックリスト」を熟知し遵守する
- 大会会場に、別添資料「会場に掲示すべき事項」を掲示し、大会参加者全員で感染防止に取り組む
- 大会参加者は、感染症の基本的予防策について理解しておく
- 大会実施に向けて、保護者の協力を依頼する
 - ・感染防止策への周知徹底
 - ・毎朝の検温や体調など生徒の健康状態の把握 等

以 上

参加校が実施する感染防止策

参加校が実施する感染防止策		日時：
シーン	項目	チェック欄
1 準備	各チームの確認	
	(1) 当該校の指導者、生徒、家族、関係者が公的機関の基準（予防マニュアル）に沿って、予防・感染拡大防止に対する行動をとっている	
	(2) 生徒の参加を強要することがないように、保護者の参加承諾書を提出する	
	(3) 活動前に検温・体調確認を行い、少しでも感冒症状が見られる場合は参加させない	
	(4) 試合に関わる全員が実施される感染対策について理解している	
	観戦について	
	無観客での実施かどうかをチーム関係者に周知しておく	
2 試合前	試合準備の行動について	
	(1) 「大会参加にあたってのチェックリスト」を、大会本部に提出する	
	(2) 選手・指導者・スタッフは可能な限りマスクを着用する	
	(3) 部室や更衣室の使用にあたってはマスクを着用し、換気を十分に行う	
	(4) 更衣の順番についてはローテーションを組む等工夫をし、素早く着替えて更衣室から早く出る	
	(5) 活動前後の「手洗い」や手指の「消毒」を徹底する	
	(6) 食事や間食をとるときは、周囲との間隔を十分にとる	
	(7) ウォーミングアップでは、ソーシャルディスタンスを確保し、2人組のストレッチ等は行わない	
(8) 隊列を組んだランニングは飛沫が後方に約10m飛んでしまう場合もあることから実施方法を工夫する		
3 試合中	試合中のベンチの行動について	
	(1) ベンチの椅子の間隔は1m間隔とする	
	(2) ベンチスタッフは必ずマスクを着用し、監督も含め着席する	
	(3) 控え選手も可能な限りマスクを着用し、椅子に着席する	
	(4) アップゾーンでウォーミングアップできる選手は2名までとする	
	(5) タイムアウト中やセット間など、ベンチ前が密にならないようにできるだけソーシャルディスタンスを確保する	
	プレーについて	
	(1) 「円陣を組んでの声かけ」は行わない。	
	(2) 試合前後のあいさつはスターティングメンバーのみが間隔を開けてエンドラインに整列、握手はしない	
	(3) 「ハイタッチ」は腕のタッチにとどめ、プレー以外での不要な接触を避ける	
	(4) 13点で1分間の給水のためのテクニカルタイムアウトを実施する	
	(5) 給水のボトルやタオルは必ず個人で準備し、各自で管理する	
	(6) 給水の前には必ず手指消毒を行う（給水機会が手を顔や口付近に持って行く機会となるため）	
ゲーム運営について		
(1) ボール交換の回数を多くし、記録席でボールの消毒を行う		
(2) クイックモップを各チームで配置し、コートワイピング時の密をさける（タオルではなくモップを用いる）		
(3) 選手・ベンチスタッフとも、ラリー中以外であれば、アップゾーン側に設置する手指消毒液を随時利用する		
4 試合後	(1) 各試合終了後、審判台・ベンチ・記録席・得点板の椅子や用具等を、使用したチームで消毒する	
	(2) 個人でのクーリングダウンなどにより更衣や更衣室に戻る時間に差をつける	
	(3) 着替えの時、更衣室の窓を開け、選手間の距離を2m以上離し、素早く済ませる（長く同じ空間にとどまらない、できれば少人数、交代制）	
	(4) 手洗いうがいや手指消毒を徹底する	
	(5) ミーティングはなるべく間隔をとって、短時間で行う	
	(6) 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（たとえば走路上）に捨てないこと	
	(7) 不必要に会場にとどまることなく帰宅する	
	(8) 試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分するか、持ち返る	

審判員はマスクを着用し、
電子ホイッスルを使用する。

- ・試合前後のあいさつはスターティングメンバーのみが間隔を開けてエンドラインに整列。握手はしない。
- ・13点で1分間の給水のためのテクニカルタイムアウトを実施し給水させる。
- ・給水のボトルやタオルは必ず個人で準備し、各自で管理する。給水の前には必ず手指消毒を行うこと。
- ・「円陣を組んでの声かけ」は行わない。また、「ハイタッチ」は腕のタッチにとどめリスクを軽減する。

- ・大会当日の朝、審判台・ベンチ・記録席・得点板の椅子やフラッグ等の用具を、役員で消毒する。また、各試合終了後には使用したチーム・役員で消毒する。
- ・ラリー中以外であれば、アップゾーン側に設置する手指消毒液を利用しに行っても良い。
- ・ボール交換の回数を多くし、記録席でその都度ボールの消毒を行う。
- ・クイックモップパーを配置し、コートファイピングの際に密業にならないようにする。クイックモップパーはベンチメンバーで良い。(タオルではなくモップを利用する)
- ・プレーに支障が出ない範囲で、体育館の換気に努める。

チーム用手指消毒液

アップゾーン
へは2名
以内

ベンチは1m間隔で設置し、アップゾーンの選手を除き、スタッフ及び控え選手は、監督も含めて必ず着席する。

用具用消毒液

チーム用手指消毒液

ベンチスタッフはマスク着用、控え選手も可能ならばマスクを着用する。

【大会当日提出】大会参加にあたってのチェックリスト

※このチェックリストは、日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき健康観察で確認するものです。いただいた個人情報につきましては、万一当大会参加者から、新型コロナウイルス感染症を発症または濃厚接触者が発生した場合の連絡にのみ使用させていただきます。

学校名	高等学校	ふりがな	教員・選手 ・その他 (○)を記入
		氏名	
住所		年齢	歳
連絡先	(いつでも連絡がとれる電話番号を記入) — —		本日の 体温 ℃

●以下確認事項を読み、「有」「無」に○を記入してください。
一つでも「有」がある場合、参加は見合わせてください。

確認事項	有	無
本日も含め、過去14日以内に		
・平熱を超える発熱がありましたか		
・咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状がありましたか		
・だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)がありましたか		
・嗅覚(におい)、味覚(あじ)に異常はありましたか		
・体が重く感じる、疲れやすい等の症状はありましたか		
・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触はありましたか(濃厚接触とは、マスクを着用せず陽性者と15分以上接触した場合や、飛沫や嘔吐物等に直接接触れることを指します)		
・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がありましたか		

●以下の点、しっかり守ってください。(□に √ を記載ください)

- マスクを持参し、参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 自チームの生徒や教員、他校の生徒との距離(できるだけ2m以上)を意識して行動すること
- 試合中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために実施している感染防止策を遵守し、役員の指示に従うこと
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、各校へ速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

以上

本大会における新型コロナウイルス感染防止策について

本大会においては、以下 1. のとおり日本スポーツ協会が推奨する感染防止策を実施しておりますのでお知らせいたします。なお、参加者（大会役員・選手・チーム関係者）の皆さまにおかれましては、2. 参加者が遵守すべき事項についてご理解いただき、遵守いただきますようお願いいたします。

1. 感染防止策

(1) トイレ・手洗い場所

- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは 30 秒以上」等を掲示すること
- 手洗い後には共用の布タオルやエアータオルは使用しないようにすること
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること

(2) 更衣室、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講ずること
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをする

(3) 試合会場

- 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- 換気設備を適切に運転すること
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

(4) ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

2. 参加者が遵守すべき事項

- ・マスクを持参し、参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ・ソーシャルディスタンス（できるだけ 2 m 以上）を意識して行動すること
- ・試合中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- ・感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- ・大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに濃厚接触者の有無等について学校へ報告すること

以上